

ち づ 智 頭 議会 だより

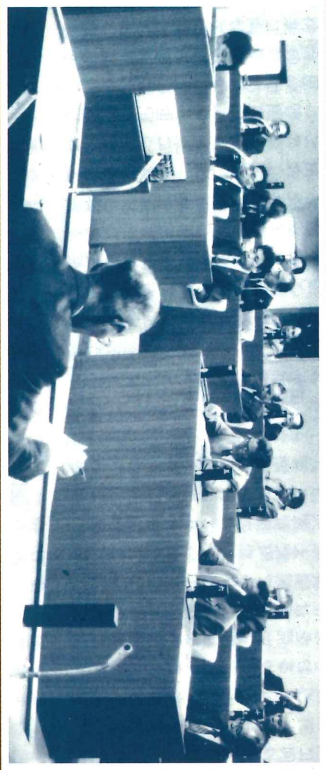


鳥取県智頭町議会
第172号
発行：令和7年10月16日

- ☆令和6年度 決算を認定 ...P4～
- ☆7人の議員が登壇し一般質問 ...P9～
- ☆町民の声（土師地区）...P16



智頭の想い出シリーズ61



「議員定数削減後の新体制議会」
昭和60年9月定例会にて、議員26人の時代の本会議の様子と
令和7年7月改選後の定数10人になった新体制での議会の写真。

議会の新体制決まる

二元代表制の一翼を担う

議長 安道 泰治

副議長 岡田 光弘

議会の役割を果たす

町民の皆様には平素から町議会の活動に対して、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。このたびの改選により、令和7年第2回智頭町議会臨時会におきまして、第三十二代町議会議長に就任することとなりました。

身之余る光栄と感激いたしますとともに、責任の重さを痛感しているところでございます。

議長として町民の皆様の負託に応えられるよう、全力を傾け公正かつ円滑な議会運営に取り組みまいります。本町におきましては、出生数の減少をはじめ

とする人口減少問題、災害対策、空き家問題等、様々な課題を抱えています。これらの課題解決に向け、町政の情報を収集し、町民の皆様へ丁寧な説明ができるよう議員の資質向上に努め、二元代表制の一翼を担う議会として執行部との議論を重ね、本町の発展に尽力してまいります。

7月の改選により副議長を拝命いたしました。10名の議員での議会運営となり、一人ひとりの役割が今まで以上に重くなりましたが、町民皆様の負託にお応えするべく努めてまいります。

最大の課題である人口減少対策につきましても正念場が続きます。将来に希望の持てる解決の糸口を見つめるべく、オール議会で継続して真摯に向き合っていくしたいと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。

【新しい委員会構成を紹介します】

R7.7.30 現在

⑥ はた えりこ 波多 恵理子  〇総務 広報広聴（広報） 〇同和問題	⑦ おおがわら あきひろ 大河原 昭洋  総務 広報広聴（広報） 〇議運 同和問題	⑧ たにぐち まさと 谷口 雅人  民生 広報広聴（広聴） 〇議運 同和問題	⑨ おかだ みつひろ 岡田 光弘  副議長 民生 〇広報広聴（広聴） 議運 同和問題	⑩ あんどう やすはる 安道 泰治  議長 総務 広報広聴（広報） 同和問題
--	--	---	---	---

監査意見

持続可能な財政運営を



代表監査委員

小林 新氏

監査委員（議会選出）

岡田 光弘 議員

西尾 寿樹 議員

（7月29日まで）

（7月30日から）

議会の決算
審議の手順

決算審査
特別委員会

9月11日（木）

主要事業審査

民生分科会

9月12日（金）

常任委員会の
所管部分
の審査

総務分科会

9月16日（火）

常任委員会の
所管部分
の審査

決算審査
特別委員会

9月17日（水）

総括審査

本会議で
【認定】

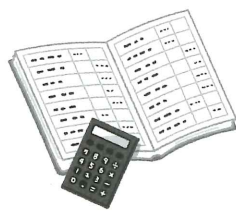
9月19日（金）

主な意見

■一般会計

自主財源比率は、県内町村と比較しても低水準であり、依然として、依存財源の割合が高い財政構造となっている。持続的な財政運営を行うためには、自主財源を確保する取り組みが重要である。

また、歳出については、義務的経費が依然として増加傾向で、厳しい財政運営の要因となっている。義務的経費の割合が大きい場合、経常的経費の増大傾向が強く、収支均衡を保持するうえでの障害となるため、財政の硬直化の状況について十分な留意が必要である。



■特別会計

一般会計からの繰り出しにあたり、その必要性を十分検討し縮減に努めるとともに、事業運営の一層の効率化に取り組み、町民の負担の公平性を損なう収入未済額及び不納欠損の解消に努められたい。

■公営企業会計

施設の老朽化・耐震化等に伴う事業費用の増加及び医師・看護師等に対する給与費、医療機器の維持管理に係る経費等医療費用が増加する一方、人口減少等による料金収入が減少する中で、厳しさが増すことが想定されている。経営戦略、経営強化プラン等を踏まえて、計画的かつ効率的な事業運営を実施し、質の高いサービスが提供されることを望む。

※①～⑩：議員番号 ◎：委員長 ○：副委員長

① ふるた ひろし 古田 浩  総務 広報広聴（広報） 同和問題	② なかい くき 仲井 茎  〇民生 〇広報広聴（広報） 〇同和問題	③ にしお としき 西尾 寿樹  議選監査委員 民生 広報広聴（広聴） 同和問題	④ たなか まさる 田中 賢  総務 〇民生 議運 同和問題	⑤ たにぐち しょうま 谷口 翔馬  〇総務 民生 議運 同和問題
---	---	---	--	--



実施した主な事業

智頭病院事業会計



経常収支 **1億211万円**

赤字

想定を超える物価高騰で
経費がかさんだのか？



議員

令和6年度については、
診療報酬の改定が行われたが、
物価高に追いついていない。



執行部

特定空家対策事業

- 3件認定
3棟解体補助実施



151万円

解体した特定空家は
全て住宅か？



議員

2棟は住宅で、1棟は倉庫。



執行部

鳥獣等被害防止事業

捕獲量が減って
いる要因は？



議員

数字上は減っているが、
大きな変動はない。



執行部



1,224万円

スクールバス運行 管理事業



5,286万円

小学生、中学生及び、ちづ保育園
児送迎のためにスクールバス
を運行した。



9月定例会

移住定住促進事業

★ ゆめが丘10棟完成 ★



1億325万円

- 住宅の改修費補助や家賃助成・空
き家の家財道具整理補助などを
行った。
- 子育て世帯を対象にした定住促進
住宅2棟を建設し、定住促進に
寄与した。

第3回定例会が9月9日から19日までの会期で
行われました。
令和6年度の決算については、特別委員会を設
置、監査委員の審査意見書を参考に慎重に審査し
た結果、上程された12議案すべてを認定しました。
このほか、令和7年度補正予算や条例改正など
10議案を、原案どおり可決しました。

令和6年度
決算を認定

共助交通運行事業



6,345万円

- 利用者・ドライバーともに
人数が増加し新しい公共交
通として浸透してきている。
- 観光目的の短期利用者にと
って手続きやコストの部分
等、2年経過して課題もい
くつか出てきている。

生活困窮者 自立相談支援事業

昨年より実績が
増えた要因は？



議員

実態把握調査を行い、
民生委員、地域の方に
気になる家庭を挙げて
もらった。



執行部

1,419万円

一般会計

歳入合計
歳出合計

6億8,367万円
6億8,396万円

令和7年度 9月定例会 補正予算 (第3号)

空き校舎 利活用推進事業



- 旧富沢小学校の器具庫の屋根の雨漏りと旧那岐小学校の滅菌器の老朽化工事

102万円

渇水対策緊急事業費



- 渇水による被害を最小限にとどめて農業経営の安定を図るため

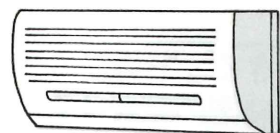
50万円

一般会計

補正予算額 … **1,556万円**

西河克己 映画記念館の 空調設備整備費

56万円



病院会計

補正予算額 … **2,728万円**

腰椎手術に 取り組むための 機器購入費



2,374万円

報告案件

●法人の経営状況について

株式会社サングリーン智頭 令和6年度経営状況(決算)
一般社団法人因幡街道ふるさと振興財団(決算)

令和7年 7月 臨時会

第2回 臨時会開催

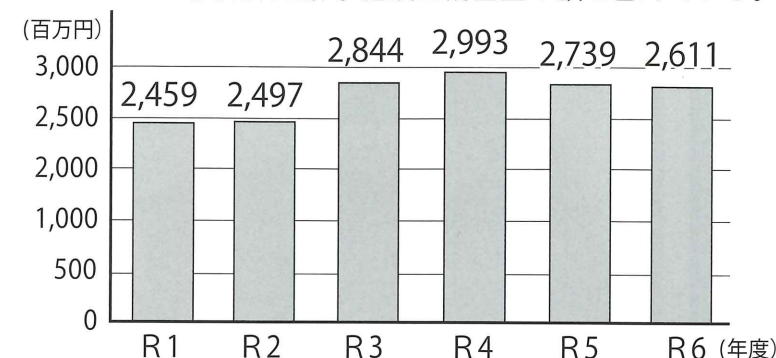
第2回臨時会が7月30日に行われ、一般会計補正予算報告案件など6議案を審議。

基金

基金とは、町の貯金のことです。

一般会計の基金残高は、令和6年度末で、約26億1,100万円となり、前年度に比べ、1億2,800万円減少している。

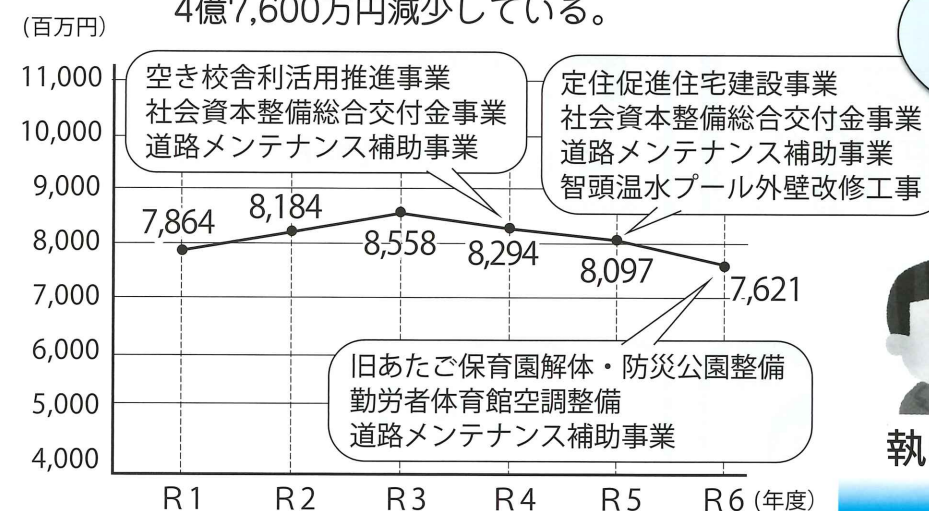
※令和4年度までは、下水道施設整備基金、農業集落排水施設整備基金の額を含んでいる。



町債

町債とは、町の借金のことです。

一般会計の町債残高は、令和6年度末で、約76億2,000万円となり、前年度に比べ、4億7,600万円減少している。



決算特別委員会

一 質 疑

本町から他市町村に寄付されている「ふるさと納税」が約880万円。制度的に止められないが町の対応は？



議員



執行部

智頭町へのふるさと納税の働きかけを行い寄付額の増加に努めていく。

町債の約76億の内、町の実質負担額は？



議員



執行部

町債の内、約20億7,000万円が実質負担額となる。

条例の一部改正

●職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について

●職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

●智頭町の議会議員及び長の選挙における選挙運動の町費負担に関する条例の一部改正について

人事案件

●智頭町教育委員会委員の任命について

任期満了に伴い、安住順一氏の再任に同意した。

その他

●損害賠償の額の決定について

戸籍情報総合システムリース解約金

※デジタル庁推進システム変更に伴い、既存システムのリース期間が短縮することで解約金が発生。全額を国が補填するものである。

発議

●少人数学級・教職員定数の改善に係る意見書の提出について

●保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出について

7人の議員が一般質問に臨みました!!

議員名 // 質問項目 // QRコード	議員名 // 質問項目 // QRコード
大河原 昭洋 1. 智頭林業の現状と今後の展望について 2. 佐治漆を活用した産業振興について	波多 恵理子 1. 智頭町健康増進計画について
谷口 雅人 1. 集落、町内会集会施設の稼働率向上について	仲井 茎 1. 一人ひとりの人生に寄り添うまちづくりについて
西尾 寿樹 1. 林業振興について 2. 林業を活用した観光振興と人材育成について	谷口 翔馬 1. ふるさと納税について 2. 広報戦略について
岡田 光弘 1. 動く役場機能について 2. 農村環境の今後について	※一般質問の録画映像をスマートフォンやパソコン・IP電話でご覧いただけます!

一般質問

問 令和3年12月にも質問したが、持続可能な林業振

答 町長 実績値と照らし合わせた数値的な評価はまだできていない。ビジョンで定める山の暮らし、自然環境、山村の管理・マネジメント、そして林業経営、4つの柱ごとに現在、有識者の方々と意見交換を行いながら検証を進めている。



担い手確保が課題

問 2020年3月に「智頭の山と暮らしの未来ビジョン」が策定されて5年が経過した。担い手の確保など課題も多くある中、進捗状況を可視化することが重要である。数値目標を定めた改訂版が必要ではないか。



大河原 昭洋

林業ビジョン

町長／有識者と検証を進めている

進捗状況の可視化が重要

答 町長 ここ数年でJ-クレジットの認証、販売に係るハードルは大きく下がってきていると認識している。町内の森林組合も含め、事業者と相談しながら検討してみたい。

陳情の審査結果

件名	提出者	審査結果
① 農道天木線の町道編入に関する陳情書	天木部落 区長 小林 熹文	採 択
② 農道の町道認定の陳情について	穂見集落 区長 谷口 明	採 択
③ 豪雨災害に関する陳情	栃本下部落 世話人 古谷 隆太郎 那岐地区担当 副団長 熊谷 敏行 第二分団 団長 川本 英之	採 択
④ 「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の陳情書	鳥取県教職員組合 (代表者) 東部支部 支部長 大黒 晃嗣	趣旨採択
⑤ ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2026年度政府予算に係る意見書採択の陳情	鳥取県高等学校教職員組合 東部支部 支部長 川上 貴美	採 択
⑥ 保育士配置基準の引上げの早期完全実施とさらなる改善を求める意見書提出を求める陳情書	鳥取の保育を考える会 代表者 石井 由加利	趣旨採択
⑦ 保育所等に対する社会福祉施設職員等退職手当共済制度の公費助成の継続を求める意見書の提出を求める陳情書		採 択

【趣旨採択の理由】

- ④働き方改革として願意は理解できるが、学力低下につながりかねないため。
- ⑥願意は理解するが、すでに本町は国の基準を超えているため。

■陳情書は定例会が始まる10日前までに提出ください。(土・日・祝日を除く)



詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。

TEL:75-3115

次回の定例会は12月4日から開催する予定です。

gikai@town.chizu.lg.jp

あの陳情、その後 どうなった？

町道奥本野々谷線に流出する濁流・土砂等、排水処理 (令和7年8月25日完成)



修繕前



修繕後



谷口 雅人

エアコン

集会施設の稼働率向上

町長／後押しできる事は精一杯

問 集落施設の稼働率は低迷したまま、特に夏場はひどい。各集落にエアコン設置補助は有効と考える。補助を行う考えはないか。

答 町長 エアコンに特化した補助金はない。

問 今一度足元を見直しその方向性をまた示して行くのが行政のあり方ではないか。

答 町長 補助をするから活動を、これは逆だと思う。これまでどおり町の制度は地域の方々の熱意で動くもの。

問 動機づけを何としてもはずみ車として、後押しし

ていく考え方は、行政もつてしかるべき。

答 町長 地域の方々が、「うちはあめしたい」「こうしたい」ということがあるならば、町として後押しできる事は精一杯させてもらいましようというスタンスである。

百歳体操
やっています！



那岐駅舎にて



坂原公民館にて



西尾 寿樹

林業振興

智頭町に合う

施策の進め方は

町長／これまでどおりにやっっていく

問 鳥取県独自の「豊かな森づくり協働税」のかさ上げが廃止となったが、町として新規に林業事業体支援事業を立ち上げ、間伐や作業道の支援を継続している。国や県は、皆伐・再造林を進めていく方針だが、智頭町としての考え方と方向性を問う。

答 町長 我が町では急峻かつ花崗岩が広く分布して崩れやすいことや、鹿による食害などの問題もあり、広範囲の面積での皆伐・再造林はエリアが限定され、災害の元にもなるので推進はしていない。町では複数回間伐を繰り返して、百年以上で伐採する超長伐採事業を基本としている。



人工林と広葉樹のパッチワーク

問 林業景観の町として森を活かした観光振興のために、石谷家住宅を中心とした今あるもの、まだ眠っている林業景観を記録映像に残して、石谷邸へ入館された方々に上映してみたいと考えるが。

答 教育長 慶長杉のある場所は持ち主が個人の方であるので、撮影許可がいたなければ財団と協議したいと考える。



岡田 光弘

動く役場機能

動く役場を実現するには

町長／デジタル人材の育成と通信環境の整備

問 今後想定される人口減少社会に対応するために、本町として限られた人材で住民サービスを維持していくために基本的などのような取り組みを、またコネクテッドカーの導入は動く役場の姿勢であると理解するが、今後の有効活用策についてはいかがか。

問 デジタルとアナログの融合、コネクテッドカー、そして告知端末、スマホと住民を結び、智頭らしい人口減少社会に対応する住民サービスの将来像は描けないか。

答 町長 健康増進事業が代表的なものであると思うが、パワーが発揮されるまちづくりイベントや、地域業者などの融合も考えていきたい。



有効活用が期待されるコネクテッドカー



波多 恵理子

健康増進対策

がん検診受診率向上は

町長／がん検診受診率を把握する予定

問 厚生労働省は、住民のがん検診の受診率を市町村が把握する仕組みを導入し、受診漏れがある住民に定期的な検診を促し、早期発見や治療につなげていくことを来年4月から市町村の努力義務とした。



答 町長 今まで町が把握できなかった情報が集まることで、定期的検診の呼びかけと受診率向上に向けた対策活用できると考える。本町でも、QRコードなどを利用した住民からの受診歴の連絡を想定している。今後この仕組みが広く住民に周知でき、情報が集まれば、管理体制も充実していくと考える。

問 若い女性に乳がん、子宮がんが急増してきている。若い世代に正しい知識を持つってもらうための啓発活動が必要と考えるが、「二十歳のつどい」でがんに関する冊子を配布しては。

答 町長 今年度は広くがん検診について知ってもらうため、パンフレットの配布を予定している。



仲井 莖

町民との対話

進捗状況は

町長／進捗といったものはない

問 2期目の就任を迎えられてから現在に至るまでの町民との対話、座談会や各種団体との意見交換会などの進捗状況は。

答 町長 町民の対話については、いろんな計画とは違い、目標設定とか数の設定とかということはしていないので進捗といったものはない。任期の間はずっと継続していきたい。

そういった事も踏まえ、各地区の森のミニデイや任意の団体のところで話をしてくれというようなことが何回かあったが、そんなに大きな回数はない。各集落で個々の話をしに上がって来てくれということも、まだこれまではない。



那岐地区のワークショップ

問 次期総合計画策定に向けて行うワークショップを開催するまでに、各地区に出向いて総合計画についての説明会を行う考えはないか。

答 町長 総合計画をつくるに当たって、説明を皆様にしながらつくるという性格のものではないという事を理解して欲しい。



谷口 翔馬

ふるさと納税

ふるさと納税を強化しては
町長／更なる納税確保に
努める

問 本町を元気で持続可能な町にしていくためには、自主財源を確保する取り組みが重要である。自主財源の確保として、ふるさと納税、企業版ふるさと納税をさらに強化をしてはどうか。

答 町長 ふるさと納税額の増加は、町の財源確保だけでなく、町内事業所の収入にもつながるので、今後

もあらゆる可能性を探りながら、更なる納税確保の方

向にむけて検討する。

問 ふるさと納税額確保として、一番やるべきことはPRの強化だと考える。智頭町が有名ならば、本町のふるさと納税サイトを閲覧する方が増え、納税額増加

答 町長 本町のSNS公式インスタグラムやTikTok等フオロワーが数字的に結構伸びを感じているので、動画でこれまでとは変わったPRの仕方を考えてみたい。



本町HPのふるさと納税

議会だより71号に関する
議会広報モニターからの
ご意見を紹介

【議会だよりの編集に関すること】

全体の構成

（見やすさ・記事量など）に関する意見

『よい』7名、『普通』7名。

わかりにくい言葉、

説明が必要な内容に関する意見

2ページ

Q 「防犯機器購入補助金」というものがあることを知りませんでした。いつからあったのでしょうか。知らない補助制度がたくさんありそうです。これは自分で探していかないといけないものなのか……と思いました。

A 補助金に関しては町ホームページや告知端末で随時お知らせさせていただいております。ご不明な点があれば、議員や役場へご相談ください。

6ページ

Q 「DX」とは何かについての説明がほしいです。

A DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用

10ページ

Q 余白に「VR内覧」についての解説があった方が良かったのでは。

A VRとは「仮想現実」の略で、記載のあった360度VRとは、360度全方位の映像を自由に視点を動かしながら視聴できる技術で、あたかもその場にいるような臨場感が得られるのが特徴です。視察先の伊賀市では、空き家バンクの物件の内覧にこの技術が使われています。

11ページ

Q 14分団の消防団290名（実質80％）とは、幽霊団員が多いということなのでしょうか。

A こちらの数字は視察先の高知県黒潮町の事例で、定員と登録団員に差があるとのことでした。本町では、登録団員の実態に合わせるように定員を定めるよう条例改正しています。

※モニターさんの意見は原文のまま掲載しています。

【町政全般・議会活動に関すること】
その他に関する意見

・10年間の無償貸与（旧平野邸）の無償貸与はともおもしろそうだなと感じました。これをきっかけに、観光面での成長がもつとあるといいなと思います。

・一般質問で様々な課題について議論されていますので、その後の動き（取組、対策等）がどのようなものになっているのかが気になりました。そこで、誌面スペースのこともありますが、ふりかえりのような記載があると、課題の継続的な認識や共有が出来、解決にもつながりやすいのではと感じました。

・今回の改選から10名へと変わり、各議員さんの負担が増えると思います。が、より一層がんばっていただけて町民の声へ耳をかたむけていただきますようお願い致します。

■訂正とお詫び■

前号171号の記事中、次のとおり誤りがありました。訂正し、お詫び申し上げます。

2ページ下段「防犯機器購入補助金」
【誤】上限1万円
【正】上限1万5千円



民生常任委員会の報告

- 7月8日 8月19日 9月12日
- 月例委員会**
所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。
- 主な質疑**
Q ナースコールの更新工事が半年以上かかり大規模なものであるが、病室の中での制約はあるか。
A 切り替え自体は短時間で終わる計画となっており、患者への影響は、切り替えの時のみとなる。
Q まちづくりアンケートについて、7月末が締切であるが、8月以降に提出のあったものも数値に含めるのか。
A 地区ごとの特性で若干の分析を加えられていて、ことだがそれ以外にも男女別の属性や年代別の属性も分析の手法としてはあるのではないかと。
Q 締切を過ぎても受け付けて集計に加えている。属性等もしっかり分析していきたい。
A 立地適正化計画について、まちづくりアンケートを9月中に取りまとめ、その後はそのように計画を立てていくのか。

- Q** 本年度に立地適正化計画を策定する予定で進めている。最終的には令和8年度に都市計画審議会を設置して審議いただかないといけないので、完成としては令和8年度末になると考えている。
A 不在地主が耕作放棄地の原因者となるので、その根を絶たないと、農地の移動も耕作をやりたいという方もいないのではないかと。
Q 不在地主については難しい問題であり、それぞれの田畑でアプローチの仕方は変わってくると思う。引き続き集落座談会を行っていくので、状況を聞き取りながら研究させていきたい。
A 乳児健診や幼児健診、歯科健診の開始時刻は13時が多く、子どもが昼寝するタイミングと被ってしまうので、機嫌が悪くなり大変という声を聞いた。時間帯の変更は考慮できないか。
Q 医師の都合や受診の体制もあるが、健診の人数も少なくなっている。
A 子どもの調子のよい時間帯に実施できないか関係機関と確認してみる。



総務常任委員会の報告

- 7月8日 8月19日 9月16日
- 月例委員会**
所管各課の事業進捗状況などについて、質疑を行いました。
- 主な質疑**
Q TikTokは動画で観光地が学べ、観光目的として使えるツールだと思う。本町の公式TikTokでも綺麗な動画が上がっているが、再生回数が増えてこないのでもったいない。再生数を増やす方法も担当課で協議いただきたい。
A ショート動画の効果は、かなりのものであると認識しているので引き続き協議していきたい。
Q JAの裏の駐車スペースがいつぱいになっており、軽自動車が普通自動車のところ停まっているのが見受けられる。役場の職員は町民ファーストでなければいけないので、自分ファーストにならないように気を付けていただきたい。
A 企画課としても課題ありと感じているので、賑やかな駅前での創出を図っていききたい。



- Q** 駅前の一等地が空き店舗というのは町としても寂しいので、尽力していただきたい。
A 職員には図書館側に停めるように伝えてはいるが、これからも続けていきたい。
Q 上水道漏水調査は、この度この地区を確認するのか。
A 智頭地区の上水道20kmの調査を行う。音を聴き取り漏水箇所を探して回り、古い敷設管を中心に見てもらおう。これから業者と調整をして、効率的に漏水調査を行うよう計画している。
Q イカリスーパー跡地利用は、どのようなになるのか。
A 所有者にも確認したうえで今後の予定を聞いているが、まだ動きがない状況である。
Q 駅前の一等地が空き店舗というのは町としても寂しいので、尽力していただきたい。
A 企画課としても課題ありと感じているので、賑やかな駅前での創出を図っていききたい。



令和7年度 鳥取県町村議会 広報研修会

- 期 日 令和7年7月25日（金）
■場 所 東伯郡三朝町「溪泉閣」
■参加者 議員7人
■演 題 「議会広報クリニック」
「読んでもらえる 議会だより」
■講 師 中本 正樹氏
（二社 日本経営協会）
■概 要
①議会だより5つのポイント
②やっつけはいけない
デザイン10のポイント
③各議会だよりの個別クリニック
■目 的
住民と議会との意見の疎通を図り相互信頼を養うため重要な役割を果たしている町村議会広報紙の、一層の充実並びに編集技術の向上のため。
■所 感
今回は対話型研修会であり、他町村議員と意見を出し合い情報共有ができた有意義な研修会であった。徹底した住民目線の重要性や、手に取ってもらえるためにはという視点を大切にして、編集に取り組んでいきたい。

令和7年度 鳥取県町村議会 女性議員研修会

- 期 日 令和7年8月4日（月）
■場 所 東伯郡三朝町「溪泉閣」
■参加者 仲井 莖・波多 恵理子
■講 師
茨城県取手市役所総務部 情報管理課長 岩崎 弘宣氏
米子市上下水道局 水道設計監理課長 長澤 伸也氏
水質管理課長 山本 剛氏
■所 感
一部では、岩崎氏に「未来に向かって発言・調査の質向上を」今までの当たり前をスクラップ」と題して講演いただいた。自分の考えを反対側から見ること、議決機関の構成員として調査を充実させ、「議会」として討議・提言をより積極的に行い、議員力・議会力を高めていくことで、町政発展・課題解決に向かうべきとの内容であった。
二部では、市職員の方に米子市の水質管理と水道管老朽化対策についてお話をうかがった。源流の町として、下流域の水を守る義務があると改めて感じた。

4世代10人家族

～ 大人も子どもも学べる環境 ～

萩原 菜奈美さん(土師地区)

同居生活

私が智頭に来て15年が経ちました。子どもにも恵まれ4人の母になりました。長男次男の手が離れ、下の子の面倒をみてくれるようになり、私も夫も経験値が上がり、今では末っ子のワガママを笑って聞けるようになりました。が！14年前の自分は子育てというものが分からず日々奮闘で、知り合いのいない場所で初めての同居生活に緊張していました。

子育て支援センター

そんな時、赤ちゃん訪問で自宅に来てくださった保健師の方々に「子育て支援センター」を紹介してもらい、長男と行ったのをきっかけに、末っ子が入園する時まで利用させていただきました。子どもが少なくなっている智頭ですが、支援センターに行くことで親子

共に出会いがあり、その出会いが今の大切な友人達に繋がっています。

頼れる家族

私の実母は私が同居をするということに対して「子どもにとって素敵な環境」と言います。私は核家族で育ちました。小学校の頃には鍵っ子で、家に帰っても誰もいないのが当たり前でした。困ったときは親に電話をしますが、帰りを待つしかありません。それが普通でした。しかし、我が子たちは違います。親が居なくとも「ただいま」と言えば「おかえり」と言ってくれる家族がいます。困れば助けてくれる家族がいます。頼れる家族が、親だけではないのです。それは私達にとっても嬉しい事で、安心にも繋がります。同居は大変もありますが、お互いを思いやり、助け合い、時



萩原さんご家族

に見て見ぬふり(笑)をしながら、大人も子どもも学べることが多い環境なのかもしれませぬ。
気付けば！4世代10人家族！助けてくれる家族のおかげで4人とも元気に成長してくれています。これからも、この智頭で賑やかに暮らしていきたいです！

編集後記

7月の改選後、初めての議会だよりの発行となります。

そして、新しい広報委員での編集作業となりました。9月は前年度予算に対しての決算審議を行う月でもあり、一年の中で一番エネルギーが必要となる定例会となります。

そのような議会活動の内容が伝えられる紙面づくり、そしてモニターの方の意見や町民の皆さまの声を反映させながら、手に取り読んでいただける「智頭議会だより」であるよう心掛けていきたいと思っております。

引き続きご協力よろしくお願い致します。
(仲井)

編集 広報広聴常任委員会

委員長 仲井 荃

発行責任者 議長 安道 泰治
以下議員全員